

## ふたとおりの終点

「もし、われわれが空想家のようなと言われるならば、救いがたい理想主義者だと言われるならば、出来もしないことを考えていると言われるならば、何千回でも答えよう。『そのとおりだ。』」 Ernesto Rafael Guevara de la Serna

### 課題

受注が獲得でき、かつ利益が最大となるような、見積書を作成してください

春が近づいてきているを感じさせるような、柔らかく暖かい日差しが、樹脂成型メーカーであるフロンティアプラスチック工業(株)の会議室の窓から差し込んでいる。いつもの会議なら細井は間違いなく睡魔におそわれていたであろう。しかし、今日の会議はちがっていた。細井が会社に入ってから、何度会議に出ただろう。今となっては、その回数は分からない。でも、今日ほど熱気がある会議ははじめてだと断言できる。

先日、細井が売り込みを続けていた大日本グローバル電機(株)の購買課長である井田から連絡があった。「先日のお宅の工場監査さあ、あれ、うちの品質の評価でたよ。一応、合格。ということで新商品の部品の見積り依頼を今からメールで送るから。品質は良いけど、コストは全然ダメってことにならないように、よろしく頼むよ」

会議室のホワイトボードには井田のメールに書かれていた見積もり条件が箇条書きされていた。

- ・ 月購入数量 第一工場:10,000 個、第二工場:8,000 個
- ・ 先方引き取り 運搬費不要
- ・ 先方支給の通い箱での運用 梱包資材費不要
- ・ 複数社に見積り依頼中 それぞれの工場以最安値を提示したサプライヤーに決定
- ・ 二社購買 第一工場、第二工場はそれぞれ別のサプライヤーに決定
- ・ 金型代は当社持ち 見積もり金額の減価償却費に含める

会議室では、製造課の大沢が「材料は大日本グローバルさんの指定材で、図面から計算したところ完成品の重さは 350g になります。加工費は一個当たり 80 円が限度ですね。」と報告していた。

営業課長の渋谷が質問をした。「大沢さん、工程のキャパはどうなんです」

「今の人員で対応はできますが、多少の残業が必要かと」

「金型は？」と渋谷が新たな質問を投げかけた。

「内製で大丈夫です。納期は二週間いただければ間に合わせます。金額は二百万円は頂きたいですね」スクリーンには細井が打ち込んでいる原価明細の表計算ソフトが映し出されている。

購買部の江藤が「細井君、さっき送った見積り書出して」と細井に促した。スクリーンが材料の見積り書に切り替わった。

「ごらんの通り、その指定材の価格はキロ当たり 460 円でした。この指定材だと調達できるところは、大日本さんからの図面にも記載されていましたが、やはり一社しかありませんでした」と落ち着いた口調で付け加える。

「細井、大日本さんは目標金額とか言ってなかったのか？」渋谷は少し早口でたずねた。

「何も教えてくれませんでした。ただ、今回取れば、他にもお願いしたいモノがあるので、ベストの価格を持ってきてくれと言ってました」

「そうか……」

「経理から言われている販管費と利益は？」

「販管費は見積り金額に対して 8%確保と、同じく、利益は少なくとも 5%は確保とされています」

「江藤君、原料はダメもとでもう一回交渉してくれ。大沢さん、もう少し加工費と金型が何とかできないか計算してください。」渋谷が静かに言った。

「分かりました。やってみましょう」と大沢が腕組みをしながら答え、江藤は静かにうなずいた。

「販管費や利益は俺の権限ではこれ以上いじれん。あとは会社として今回の案件をどう考えるかだな。部長と社長にこれから話をする。細井、この表を印刷してくれ」

## ルール

### 1.添付資料

フロンティアプラスチック工業(株)の損益計算書

購買部の江藤が入手した原料の見積もり

### 2.進め方

#### 樹脂原料メーカーとの交渉

必要であれば原料メーカーと価格交渉をしてください。

なお、交渉は 1 回まで可能。交渉は RFQ をメーカー役の幹事までメールを送付してください。

1 回を超えてメールを送った場合は失格。RFQ の最終受付は 16:20 です。これ以降は無効とします。

#### 見積もり作成

各社(各グループ)で立てた販売戦略を基に、上記の原料価格などを参考にして大日本グローバル電機(株)の第 1 工場向け見積り書と同じく第 2 工場向けの見積り書の計 2 部を作成してください。様式は自由です。

#### 受注獲得グループ決定

見積書を各チームに発表。最安値を提示したグループを、受注獲得社(グループ)とします。

#### 最優秀グループ決定

受注を獲得した 2 社の月当たりの利益を計算し、利益を最も得たチームを最優秀チームとして表彰！

## 損益計算書

自：2010年4月1日

至：2011年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
[ 売上高 ] 売上高		1,656,282
[ 売上原価 ] 期首棚卸高	17,177	
当期製品製造原価	1,311,569	
期末棚卸高	21,171	1,307,675
売上総利益		348,707
[ 販売費及び一般管理費 ]		209,583
営業利益		139,124
[ 営業外収益 ] 受取利息	172	
雑収入	1,132	1,304
[ 営業外費用 ] 支払利息	2,459	
雑損失	5,824	8,283
經常利益		132,144
[ 特別利益 ] 貸倒引当金戻入益		1,285
[ 特別損失 ] 固定資産除却損		335
税引前当期純利益		133,094
法人税等		46,223
当期純利益		86,870

## 製造原価明細書

科 目	金 額	
原材料費		1,008,597
労務費		86,564
経費		
電力費	19,674	
減価償却費	32,789	
外注加工費	123,287	
その他	40,659	216,409
当期製造原価		1,311,569

# 御見積書

東京営-12-00567  
2012年 3月 7日

フロンティアプラスチック工業(株) 御中

2012年 3月 1日 貴社ご照会の  
PP FRB007  
について下記のとおり見積もり致します。  
何卒ご下命のほどよろしくお願いたします。

東京エンブラ株式会社  
東京第1営業部 営業1課  
柴田 英之

納期:発注後5日  
受渡場所:貴社工場  
御決裁条件:貴社規定による  
運賃:下記金額に含む

御見積有効期限  
2012年 4月 30日

品名、及び規格、仕様	数量	単価	単位	金額
PP FRBZ007 (大日本グローバル電機指定材)	300kg	460	円/kg	138,000円
				以上
<b>合計</b>				

備考:  
最小納入口ット:300kg  
本見積もりには消費税は含みません。